

スカパーJSATグループ
2016年度 2Q決算説明会

2016年11月4日(金)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第2四半期連結決算概要

損益概要

- 前年同四半期比、減収増益。
- 防衛省より受注したXバンドの衛星通信中継機能等の整備・運営事業に関するデリバティブ評価損807百万円を計上したため、純利益は前年同期比減益。

(単位:百万円)

	FY2015 2Q累計	FY2016 2Q累計	増減率	通期予想 進捗率	FY2016 通期予想
営業収益	81,756	79,318	△3.0%	40.7%	195,000
営業利益	10,871	11,061	1.8%	52.7%	21,000
経常利益	10,884	11,125	2.2%	54.3%	20,500
親会社株主に帰属 する四半期純利益	7,035	7,012	△0.3%	53.9%	13,000
EBITDA ^{*1}	22,566	21,635	△4.1%	49.0%	44,200

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

セグメント別連結業績の推移(2015年度 1Q ~ 2016年度 2Q)

- 有料多チャンネル事業は前年同四半期比 減収増益
- 宇宙・衛星事業は前年同四半期比 減収減益

(単位:百万円)

	2015年度					2016年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
営業収益	41,122	40,633	41,710	39,438	162,905	39,707	39,610
有料多チャンネル事業	30,904	30,636	29,690	29,184	120,415	30,095	29,882
宇宙・衛星事業	13,320	13,098	14,992	13,187	54,599	12,626	12,718
消去又は全社	△3,102	△3,101	△2,972	△2,932	△12,109	△3,013	△2,990
営業利益	5,855	5,015	7,689	5,650	24,210	6,266	4,795
有料多チャンネル事業	1,307	772	3,087	1,074	6,241	1,861	1,023
宇宙・衛星事業	4,714	4,407	4,752	4,738	18,611	4,585	3,937
消去又は全社	△166	△164	△150	△162	△643	△180	△165

有料多チャンネル事業の主要指標(*)

	FY2015 2Q累計	FY2016 2Q累計	FY2016 通期目標
新規加入件数(万件)	22.6	17.4	43.0
純増数(万件)	2.0	△3.7	2.0
累計加入件数(万件)	348.2	344.6	350.2
加入者月額支払単価(¥)	3,373	3,327	-
ARPU(¥)	2,223	2,159	-
SAC単価(¥)	35,255	37,882	-

*スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

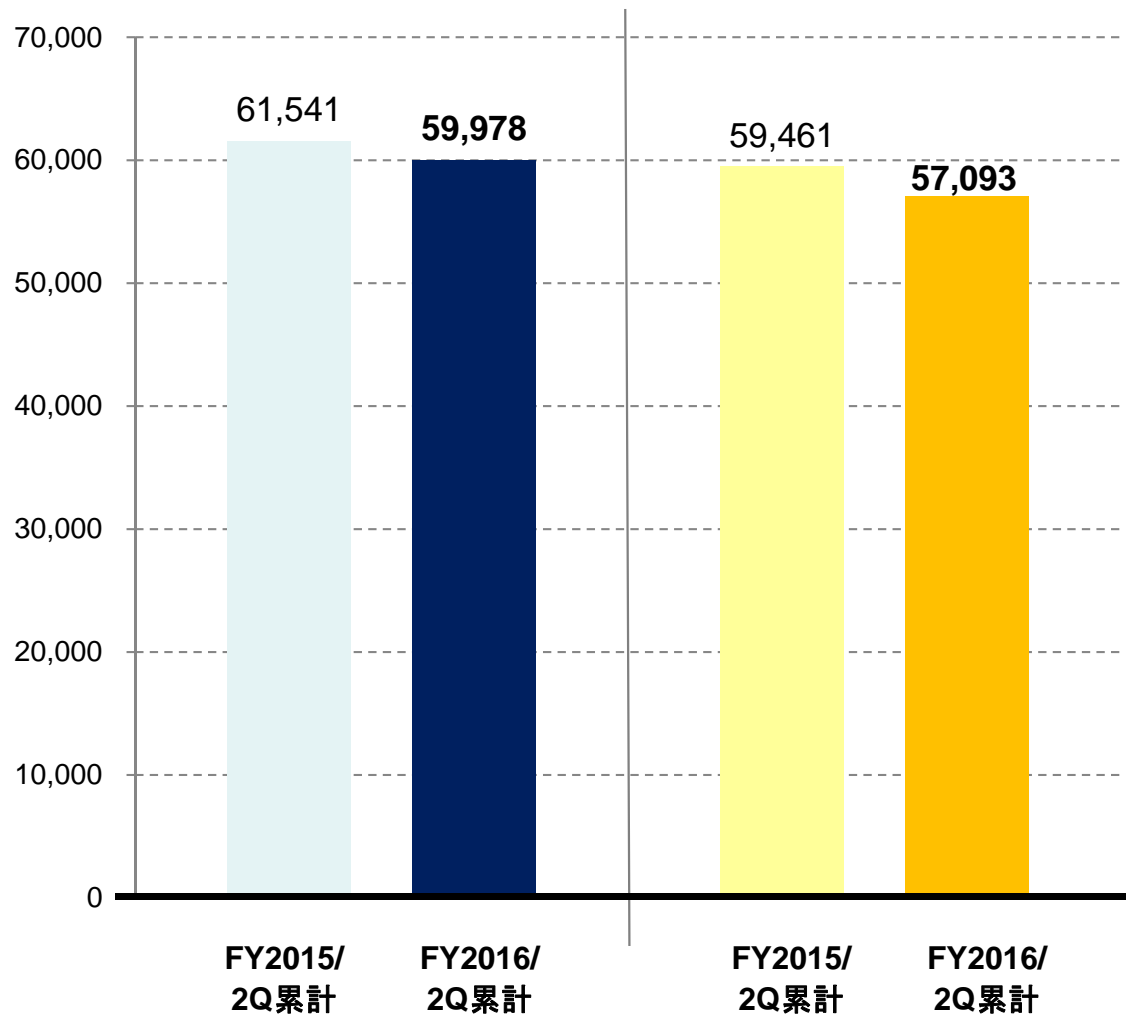
有料多チャンネル事業の業績概況：前年同期比

有料多チャンネル事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲15.6億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- スカパー！業務手数料収入増加：+5億円
- プレミアム視聴料収入の減少：△13億円
- その他の減少：△8億円

営業費用(▲23.6億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- プレミアム番組供給料の減少：△7億円
- 広告宣伝費の減少：△11億円
- 減価償却費の減少：△3億円
- その他費用の減少：△3億円

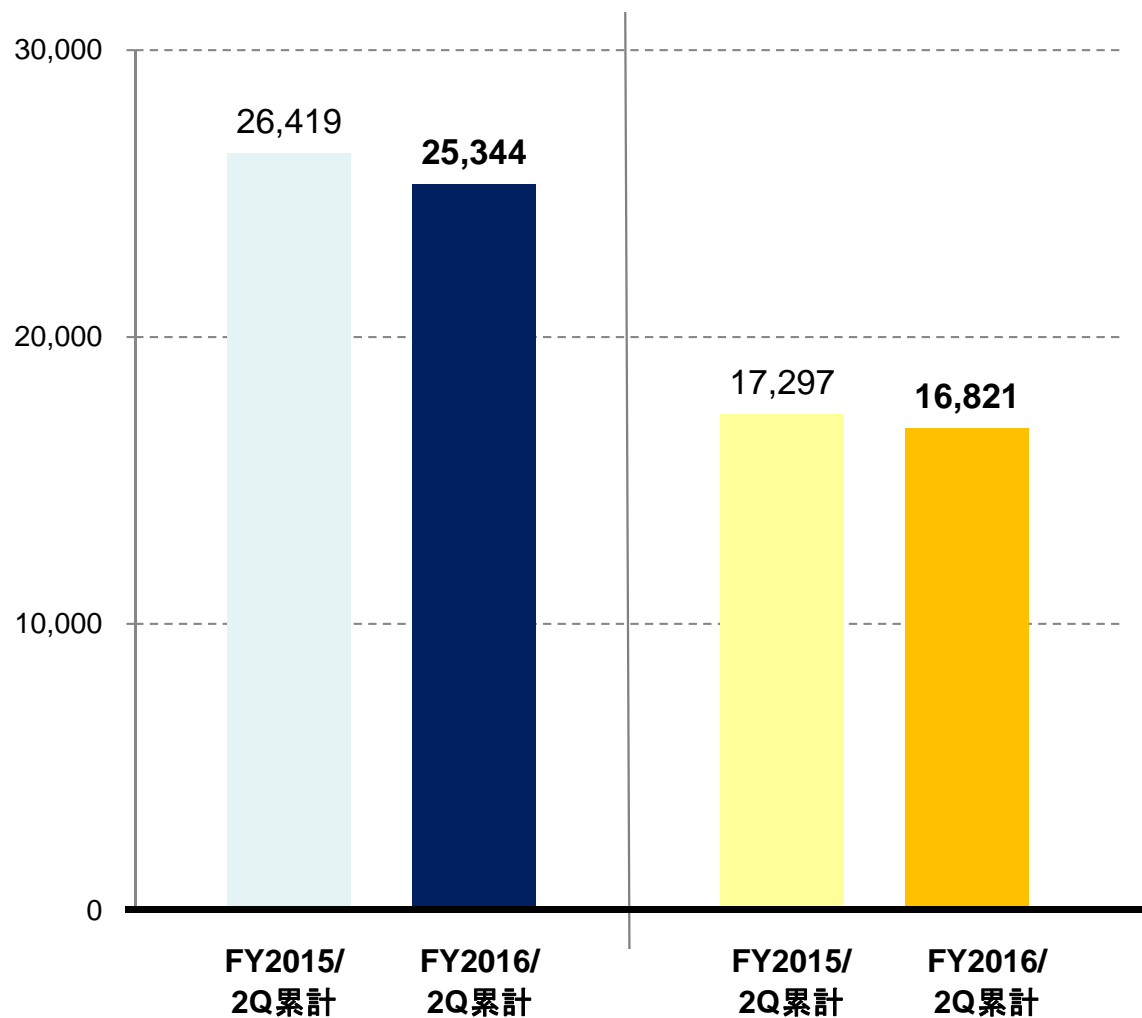
宇宙・衛星事業の業績概況：前年同期比

宇宙・衛星事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲10.7億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 国内衛星通信サービス収入の増加：+2億円
- 海外顧客の売上減少：△10億円
- その他の減少：△3億円

営業費用(▲4.7億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 衛星減価償却費の減少：△2億円
- 衛星事業原価等の減少：△3億円

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

第3Q 加入促進施策

■ 10日間無料放送 (10/28～11/6)

・無料放送による視聴経験の拡大、および新規契約を最大化

- ✓ オンデマンドサービスでも10日間無料配信を実施。
- ✓ 無料放送期間内と期間後を合わせたコンテンツ訴求
- ✓ 加入料0円キャンペーンの実施



■ FTTH 光コラボレーション販路の強化

・新たな販路として立ち上げたが、更なる獲得数規模拡大のため、下記施策を導入。

- ✓ 初期費用、工事費の無償化施策(11月～)
- ✓ スカパー！新基本パック最大2ヶ月無料キャンペーン(11月～)
- ✓ 取扱商品の拡充によるお客様の選択肢の拡大

Bリーグ放送開始、新セット販売

■ B1公式戦 第4節以降の注目試合を徹底放送！

- ・10月公式戦 第4節～第6節の28試合は無料で生中継！
- ・11月1日より新セットの販売開始。



× スカパー！
ココロ動く、未来へ。



(C)B.LEAGUE

■ Bリーグセット 商品概要

- ・提供サービス:スカパー！、プレミアムサービス、プレミアムサービス光

※スカパー！オンデマンドでは上記サービスで「Bリーグセット」契約者のみ視聴可。

- ・月額:2,480円

<セット構成チャンネル>

- | | |
|--------------------|------------|
| ・FOXスポーツ&エンターテイメント | ・日テレジータス |
| ・J SPORTS 3 | ・日テレNEWS24 |
| ・スカイA | ・スカチャン0他 |
| ・GAORA SPORTS | ・BSスカパー！ |

※「Bリーグセット」のご契約者様は、J SPORTS 1,2,4で放送されるBリーグ中継もご視聴頂けます。

今後のコンテンツ

■スポーツ

✓ ゴルフ ワールドカップ(ゴルフネットワーク)

★3年ぶりに開催される国別対抗戦を全ラウンド生中継。
日本代表として、松山英樹 & 石川遼がペアで出場



©Getty Images

■映画

✓ 日活ロマンポルノリポートプロジェクト
新作製作 powered by BSスカパー！

★日活ロマンポルノ45周年を記念して11月～2月に劇場公開される新作
5作品を、劇場公開日の同日深夜0時にBSスカパー！にて【R+15版】を放送。



©2016日活

- ✓ 11月: 行定勲監督「ジムノペディに乱れる」
 - ✓ 12月: 塩田明彦監督「風に濡れた女」
 - ✓ 1月: 白石和彌監督「牝猫たち」
 - ✓ 1月: 園子温監督「アンチポルノ」
 - ✓ 2月: 中田秀夫監督「ホワイトリリー」
- ※劇場公開は【R18+版】

■オリジナルドラマ

✓ 「ひぐらしのなく頃に解」

★5～6月に放送したBSスカパー！オリジナル連続ドラマ「ひぐらしのなく頃に」の
シリーズ解答編。稲葉友、NGT48(加藤・中井・青司・本間)のダブル主演



©2016 スカパー！

■趣味娯楽

✓ 第66期 王将戦 挑戦者決定リーグ最終一斉対局
(11/25: 囲碁・将棋、スカチャン、BSスカパー！)

★現王将である郷田真隆への挑戦者を決めるリーグ最終対局3局
を全て生中継。羽生善治三冠をはじめ将棋界のトップ棋士6名が激突！



WAKUWAKU JAPANの取り組み

現在5カ国(タイを除く)で合計約**690万世帯**が視聴可能！

※契約世帯数は当社推定値

■ 各国の有料放送プラットフォームにチャンネル展開

 **インドネシア**

 INDOVISION 衛星放送	 Okevision 衛星放送	 Play Media IPTV
 BiG TV 衛星放送	 FIRST MEDIA CATV	 Use TV IPTV
 Orange TV 衛星放送	 TRANS VISION 衛星放送, CATV	

 **台湾**

2016年9月開局

 K-bro (凱擘) : CATV	 TOP (数位光訊) : CATV
 天外天有線電視 天外天、新北市 : CATV	 數位天空 bbtv (CNS) : CATV
 MOD (中華電信) : IPTV	 聯維 (Lian Wei) : CATV

2016年11月開局予定

 **シンガポール**

 Singtel TV IPTV	 StarHub TV CATV
---	---

 **スリランカ**

2016年10月開局

 Dialog TV
--

 **ミャンマー**

 4TV
--

■ タイは地上波で毎週3時間放送

 **タイ**

 **2016年3月**から
地上波タイムブロックにて
放送開始

Ch3SD
タイの最王手民間メディア企業が展開する全
国ネット地上波デジタル放送のチャンネル。

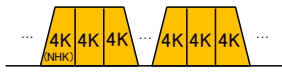

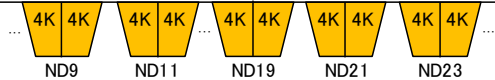
2016年度末 視聴可能世帯1,000万世帯を目標

グループ会社再編について

■ (株)スカパー・エンターテイメント:グループ内における衛星放送事業者を一本化

- ✓ 124/128度 衛星一般放送事業
- ✓ 110度 右旋・左旋 衛星基幹放送事業

<超高精細度放送に係る衛星基幹放送業務 認定申請状況>

	BS		CS
	右旋	左旋	左旋
申請対象	<p>■対象：2トラポン（帯域再編）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4K 6番組（内、1番組がNHK） <p>(イメージ)</p> 	<p>■対象：3トラポン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8K 1番組（NHK） ・4K 6番組 <p>(イメージ)</p> 	<p>■対象：5トラポン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4K 10番組 <p>(イメージ)</p> 
申請者	<p>■計6番組申請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ビーエス朝日 ・(株)BSジャパン ・(株)BS-TBS ・(株)BS日本 ・(株)ビーエスフジ ・(株)WOWOW 	<p>■4K：計4番組申請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SCサテライト放送(株) ・(株)QVCサテライト ・(株)東北新社 ・(株)WOWOW【再掲】 	<p>■計9番組申請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SCサテライト放送(株)【再掲】 ・(株)スカパー・エンターテイメント ※8番組申請

■ (株)スカパー・ブロードキャスティング:番組制作事業の強化

- ✓ 番組制作事業の強化
 - ・4K/HDR中継制作車の導入



今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

宇宙・衛星事業の重点施策

■ 新型衛星投入によるグローバル・モバイル需要の取り込み

- JCSAT-14及びJCSAT-15によるモバイル通信需要への対応
- Horizons 3eなど、他オペレータとの提携等によるHTS(High Throughput Satellite)の投入及び新たなSバンド衛星の投入

■ 宇宙基本計画に対応した宇宙・衛星事業領域の拡大

- 宇宙基本計画に基づいた政府系衛星の調達や管制業務
- 非静止衛星のオペレーションやそれらを利用した宇宙ビジネス

■ 新たな衛星利用分野の開拓

- 災害医療VSAT、4K・8K映像配信
- 平面アンテナを利用した自動車への情報配信、IoTなど

■ 衛星フリートの効率化

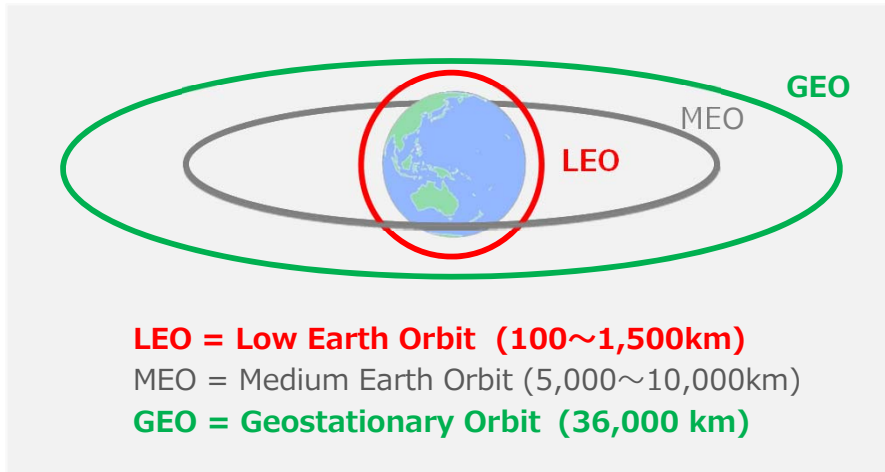
- 新予備衛星JCSAT-16号機投入による後継衛星調達時期の効率化、旧予備衛星の活用
- 衛星調達における相乗りミッションや他オペレータとの共同衛星によるフリートの効率化
- 衛星、ロケットの調達コスト低減

■ 新規事業の創出

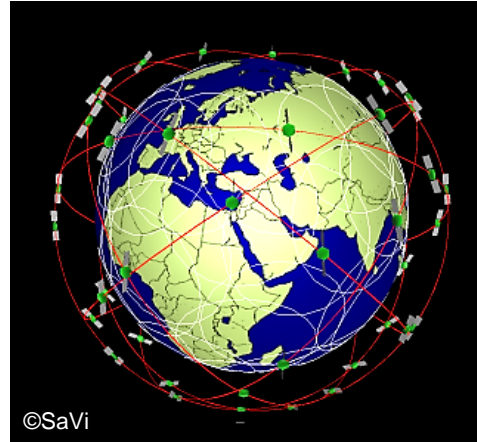
- 低軌道・小型衛星を利用した情報提供ビジネスなど

低軌道 (LEO) 衛星について

LEOは地球周回軌道の一つ



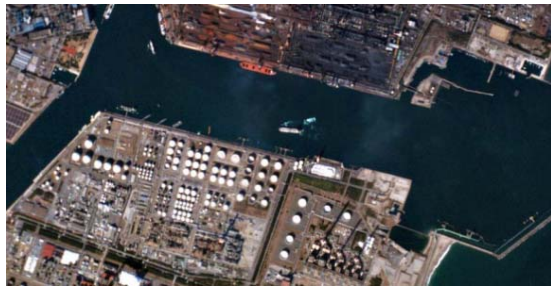
▼軌道次第で様々な地域上空を通過



▼上空通過時に通信や観測を行う



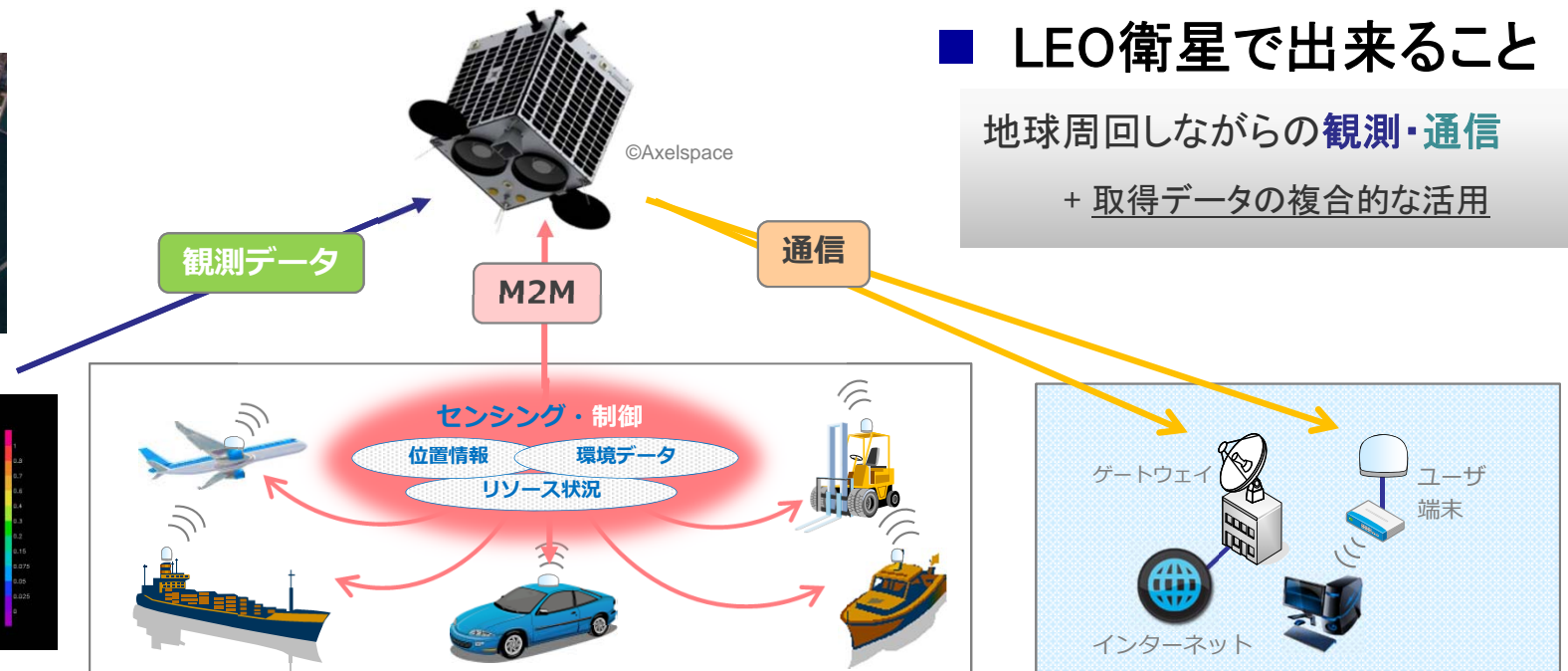
▼可視光画像 (鹿島港)



©Planet

LEO衛星で出来ること

地球周回しながらの観測・通信
+ 取得データの複合的な活用



▲農業利用 (赤色光・近赤外線マップ)

低軌道・小型衛星ビジネスの動向

地球観測等

衛星50機(2022年)を計画 




AxelGlobe

- ✓ 50機の衛星群
- ✓ 地球上の全陸地の45%をカバー
- ✓ 人間が経済活動を行うほぼすべての領域
- ✓ 更新は全世界、毎日

資金調達額: 19億円

リアルタイム地球観測網AxelGlobeを計画

衛星60機保有(2016/8)→120機(2017年前半) 





資金調達額: US\$183百万

低価格・高頻度な衛星画像を実現
日本国内では(株)衛星ネットワークが独占販売。



衛星7機保有(2016/9) →今後追加予定 



衛星画像取得と地理情報分析

衛星9機保有(2016/7) →58機(2024年) 



売上C\$ 23.6Million (2015年7月期)
AISの受信と情報配信

衛星10機保有(2016/7) →100機 



GPS-ROIによる気象情報取得

衛星3機保有(2016/7) →300機 



高解像度画像・映像のリアルタイム提供

通信

衛星約700機を計画(～2020年) 

パートナー














資金調達額: US\$500百万




衛星78～108機を計画(～2020年) 



パートナー



資金調達額: 不明

衛星4000機を計画 



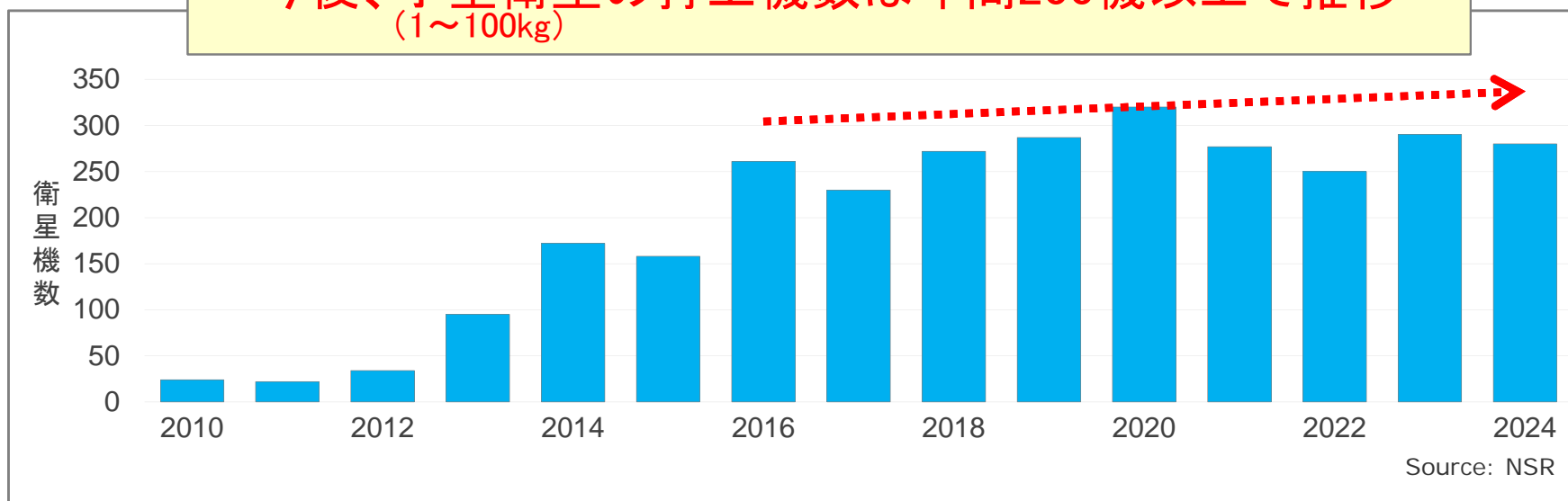
出資者




資金調達額: US\$1000百万

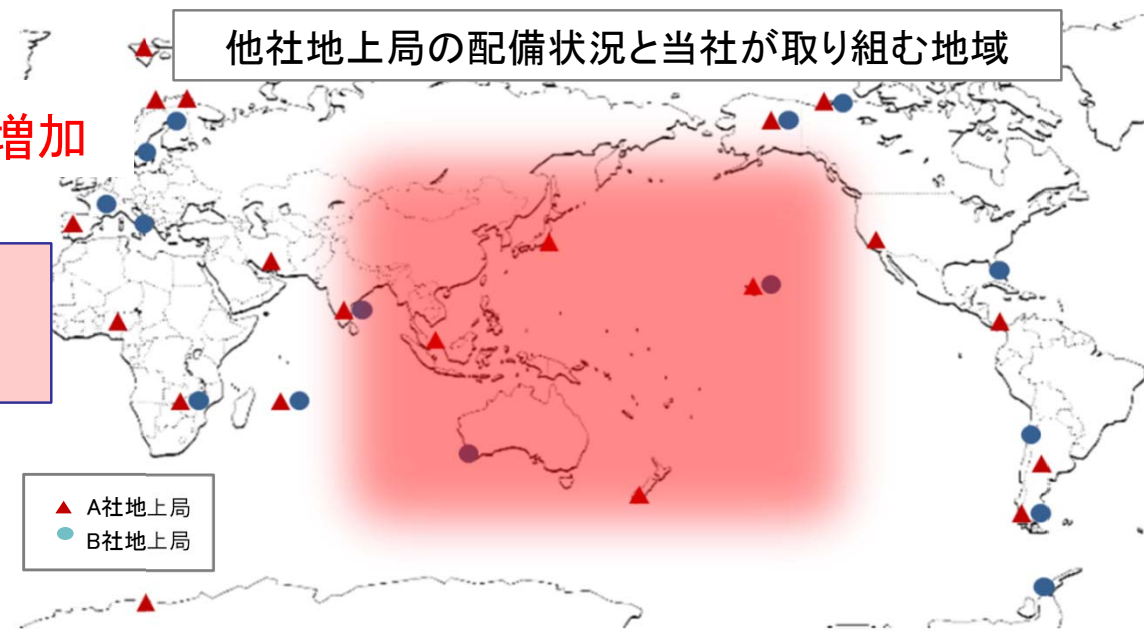
地上局サービス需要の増加見込

今後、小型衛星の打上機数は年間200機以上で推移
(1~100kg)



低軌道小型衛星による地上局利用の需要増加

特にアジア・太平洋地域は、
他地域と比較して地球局配備が手薄



当社の地上局サービスの概要

■ 地上局を茨城ネットワーク管制センターに構築

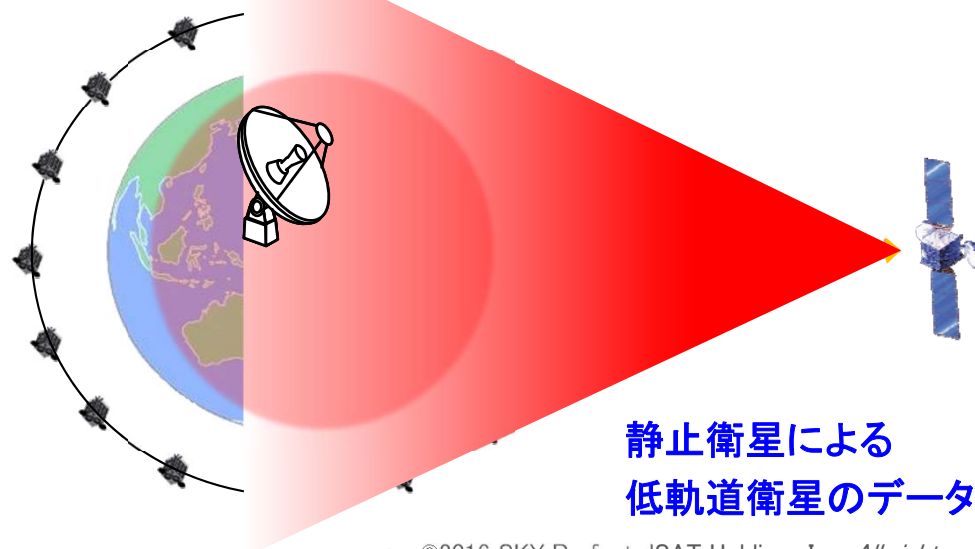
低軌道衛星の運用受託及びデータ受配信サービスを2017年第1四半期から開始



■ 今後の取り組み

データ中継衛星事業への関与

衛星で取得した画像等の情報に関わる付加価値サービスの開発



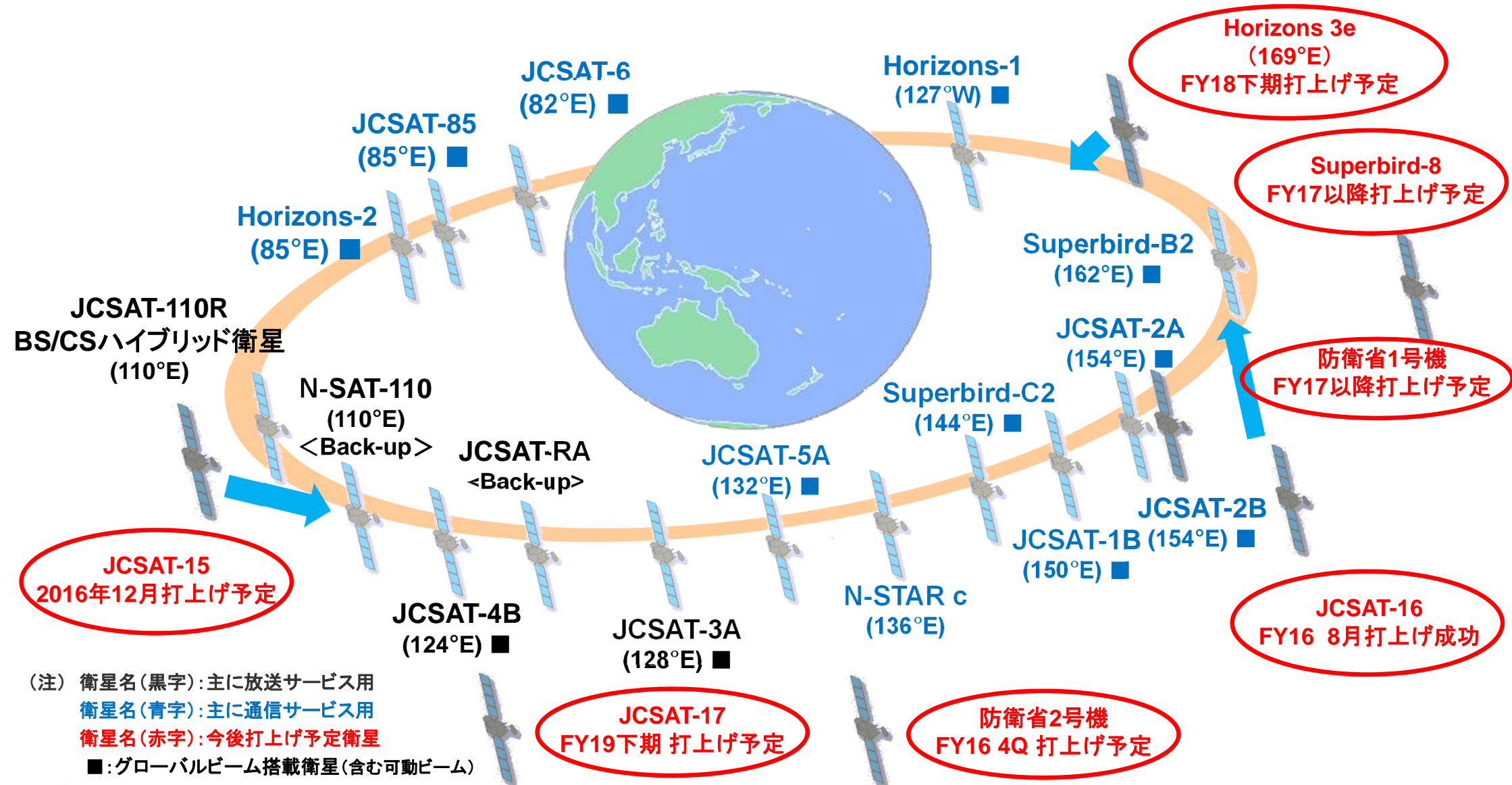
打上げ予定衛星一覽

■ 衛星打上げスケジュール等の変更

(変更箇所:赤字部分)

	JCSAT-14(2B)	防衛省PFI事業 1号機	Superbird-8
衛星バス	SSL1300	DS2000	DS2000
製造メーカー	Space Systems/Loral	三菱電機	三菱電機
ロケット	Falcon9	Ariane5	Ariane5
打上時期	2016年5月6日打上げ成功 2016年10月末にてJ2Aからの顧客移行完了	2017年度以降打上げ予定	2017年度以降打上げ予定
軌道位置	東経154度	-	東経162度
目的	JCSAT-2A後継 (国内・海外・モバイル)	防衛省PFI事業用衛星	Superbird-B2後継機 (国内)
	JCSAT-16	JCSAT-15	防衛省PFI事業 2号機
衛星バス	SSL1300	SSL1300	DS2000
製造メーカー	Space Systems/Loral	Space Systems/Loral	三菱電機
ロケット	Falcon9	Ariane5	H-II A
打上時期	2016年8月14日打上げ成功 2016年12月よりSB-B2からの顧客移行開始	2016年12月下旬打上げ予定	2016年度 第4四半期打上げ予定
軌道位置	東経162度	東経110度	-
目的	軌道上予備衛星 (SB-8打上げ遅延に伴いSB-B2顧客が一時的に利用)	N-SAT-110後継 (有料多ch・モバイル)	防衛省PFI事業用衛星

北米上空からインド洋上空まで計17機の衛星を保有



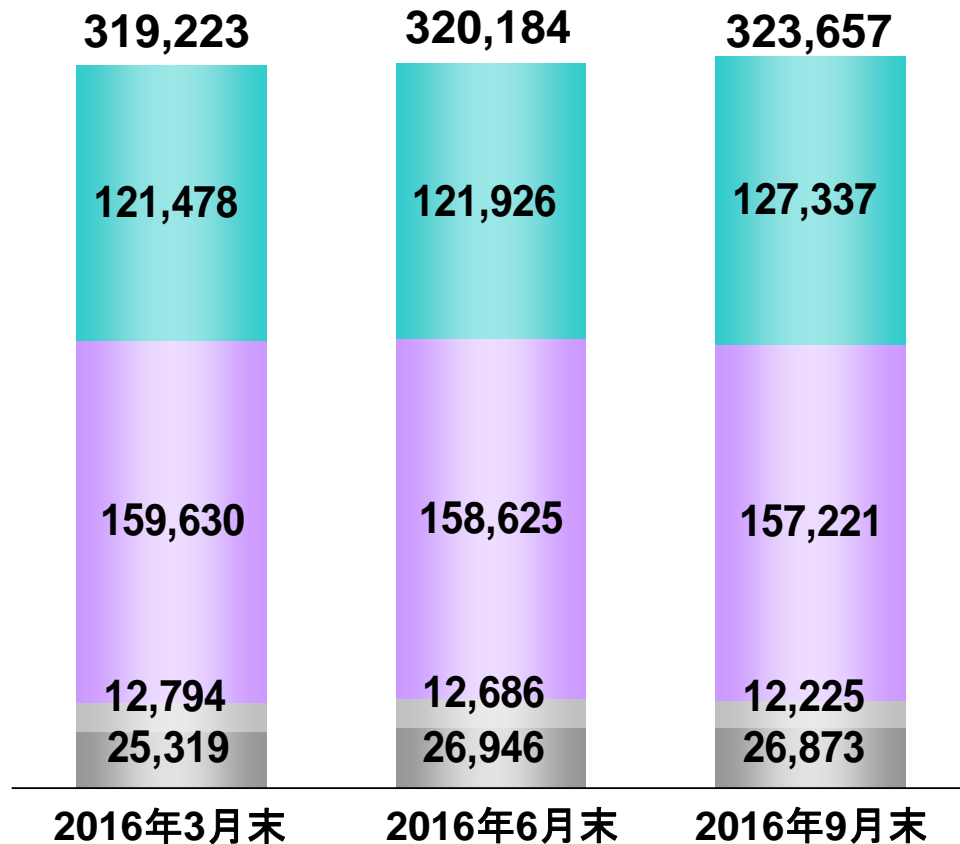
(注) 衛星名(黒字):主に放送サービス用
 衛星名(青字):主に通信サービス用
 衛星名(赤字):今後打上げ予定衛星
 ■:グローバルビーム搭載衛星(含む可動ビーム)

(参考資料)

連結貸借対照表

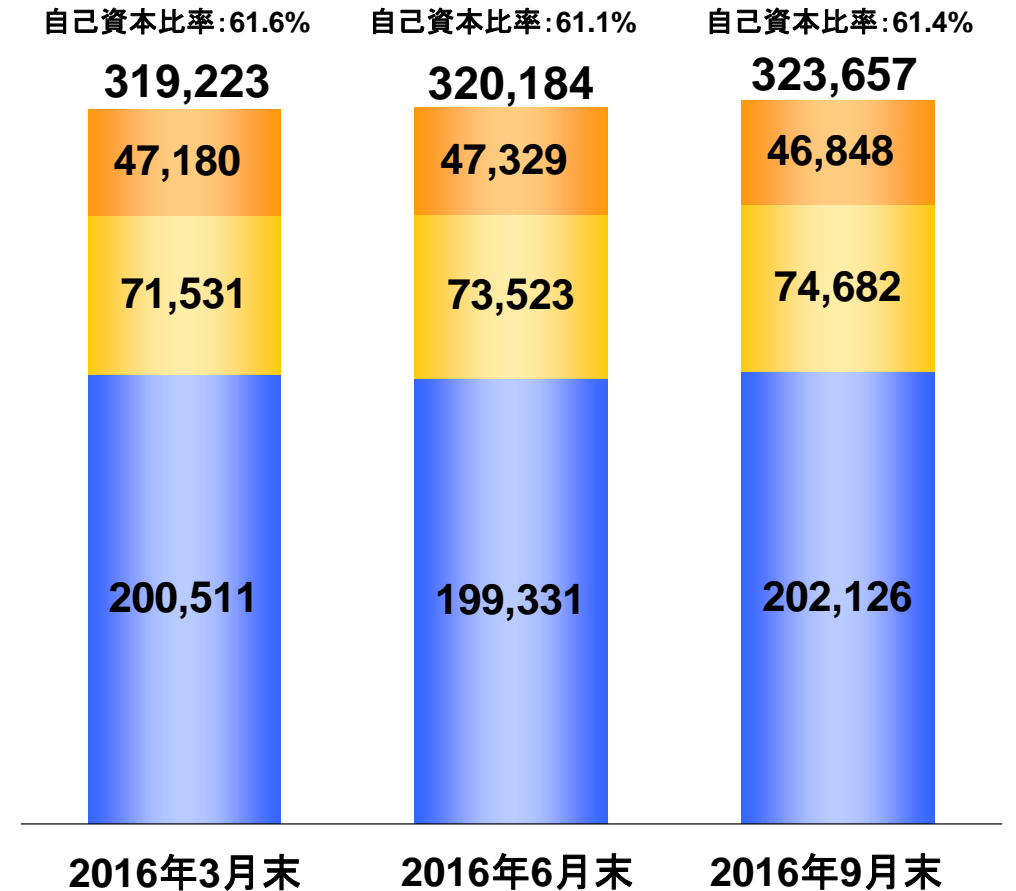
資産

(単位:百万円)



負債・純資産

(単位:百万円)



■ 流動資産
 ■ 有形固定資産
 ■ 無形固定資産
 ■ 投資その他資産
 ■ 流動負債
 ■ 固定負債
 ■ 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

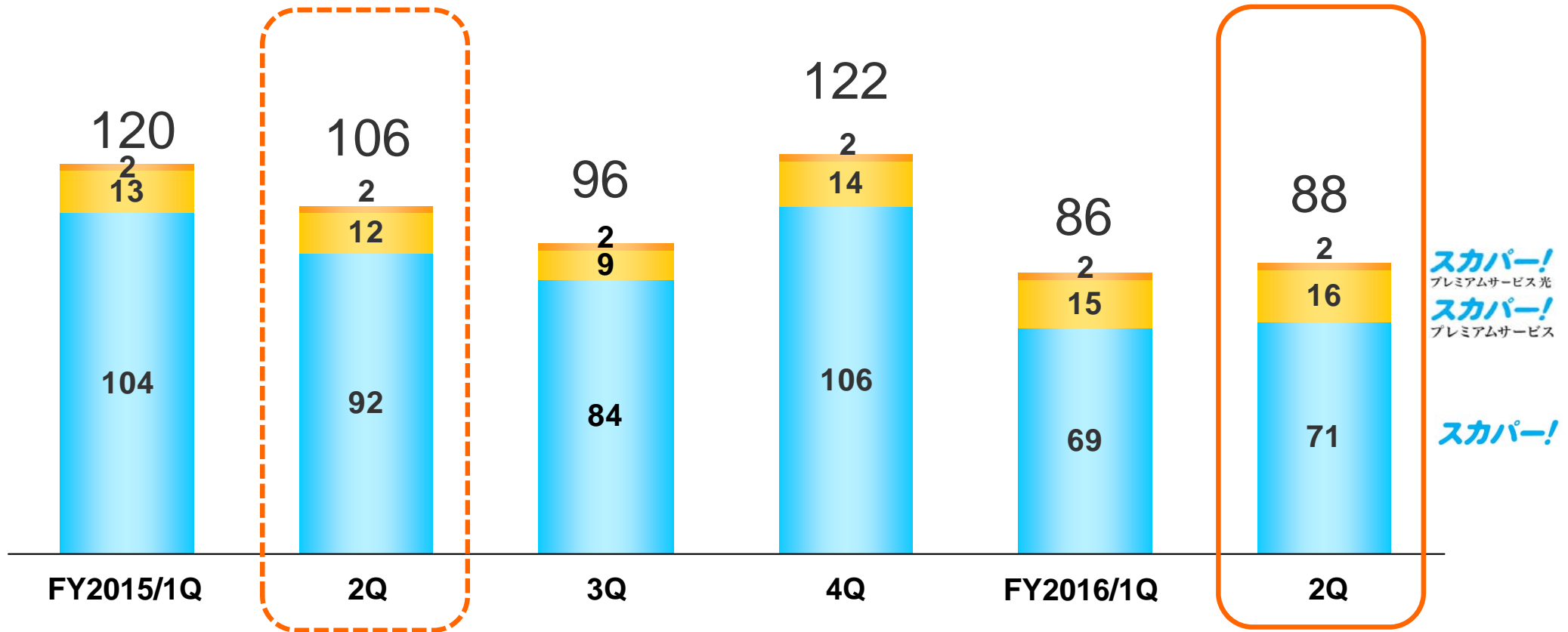
	FY2014/2Q 累計	FY2015/2Q 累計	FY2016/2Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,365	14,069	7,678
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,212	△16,470	△11,007
フリー・キャッシュフロー (*1)	△1,846	△2,401	△3,329
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,545	25,541	△455
現金及び現金同等物の期末残高(a)	50,334	57,174	44,598
有利子負債期末残高 (*2) (b)	36,827	61,721	65,908
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△13,506	4,547	21,309

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

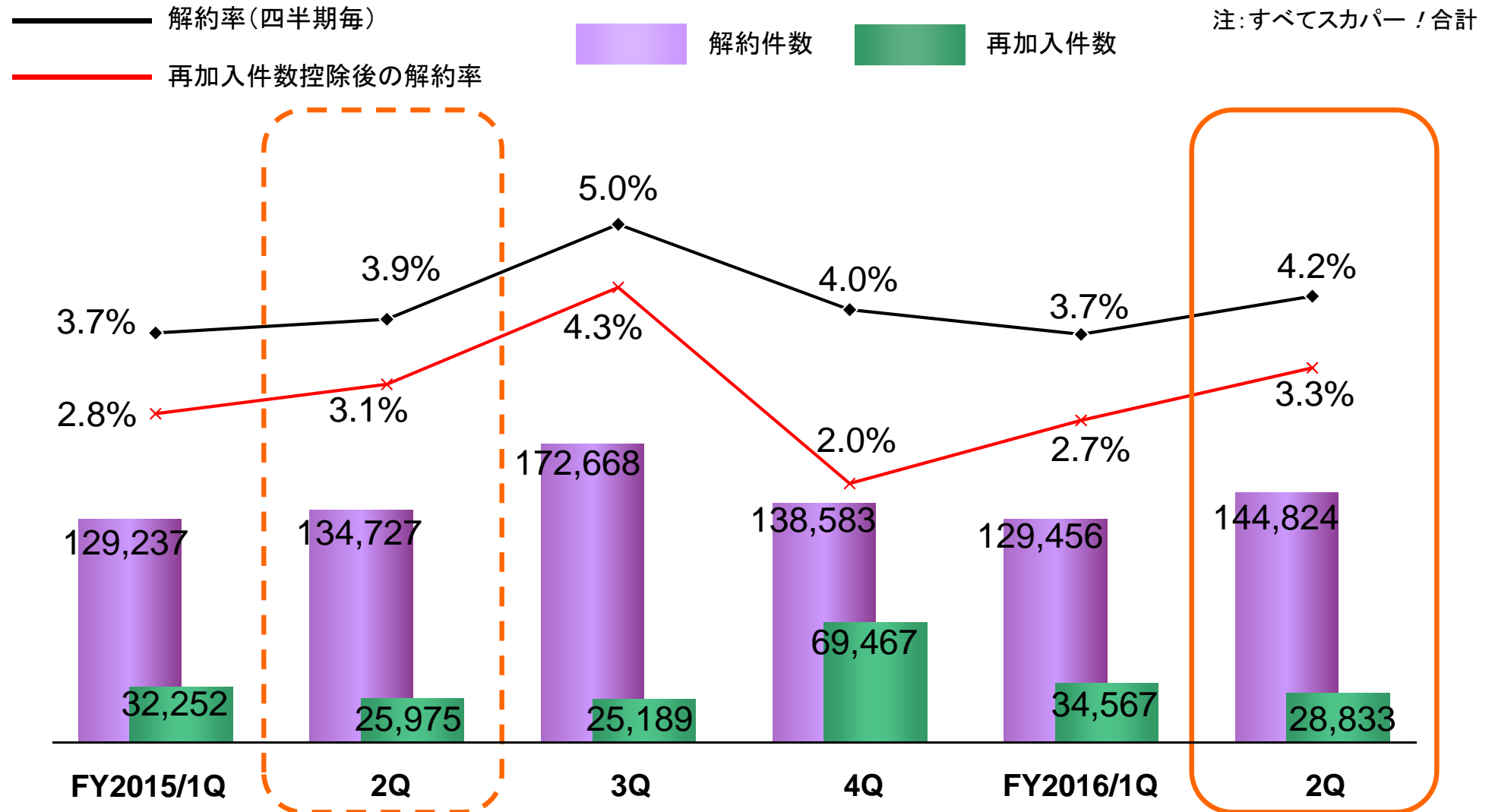
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

(単位: 千件)

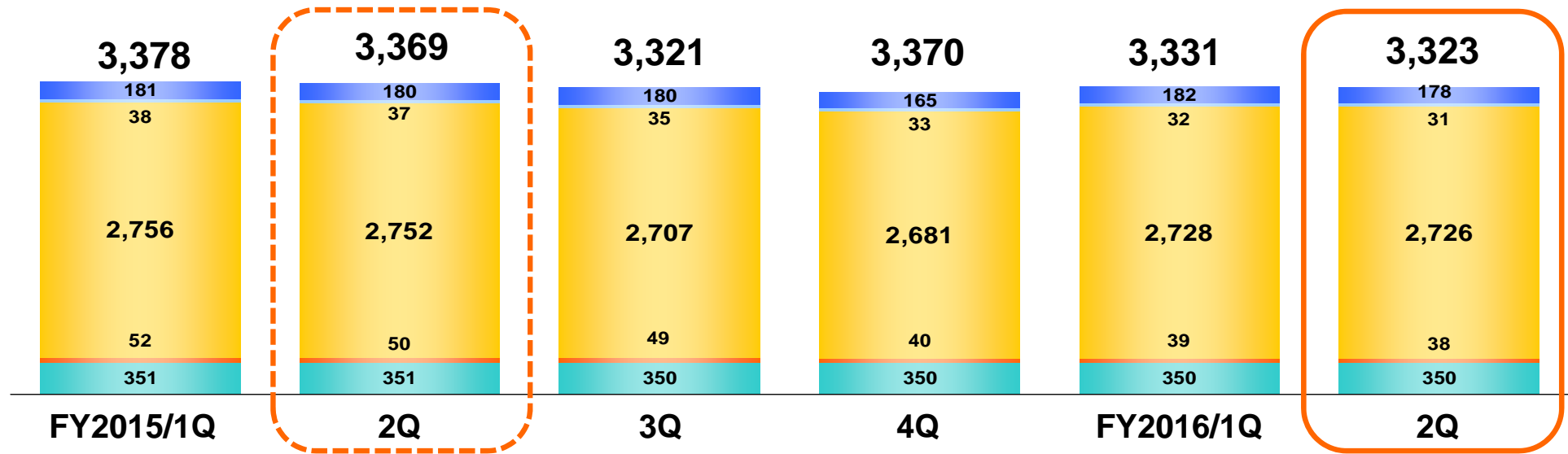


解約率の推移

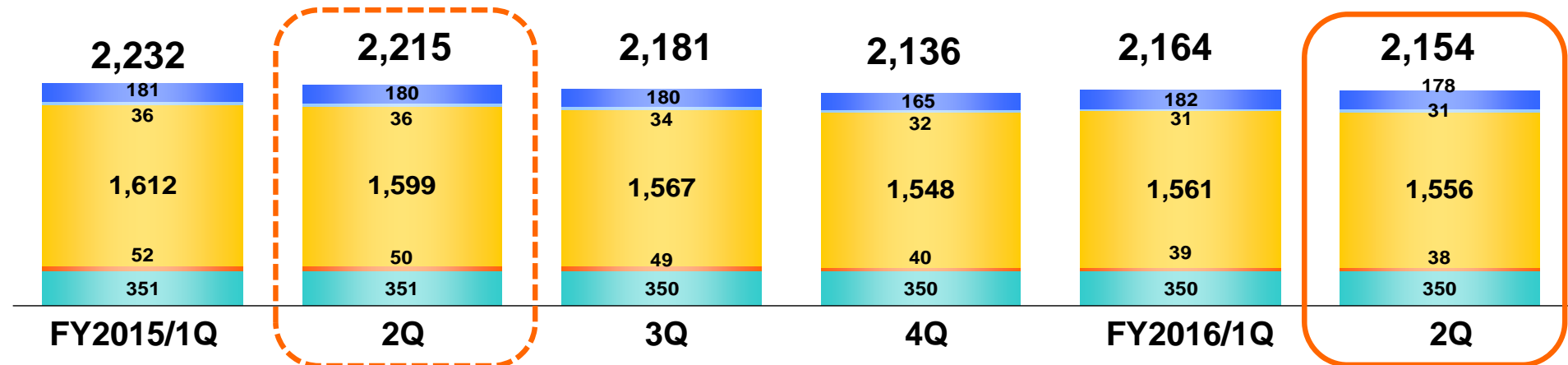


各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)



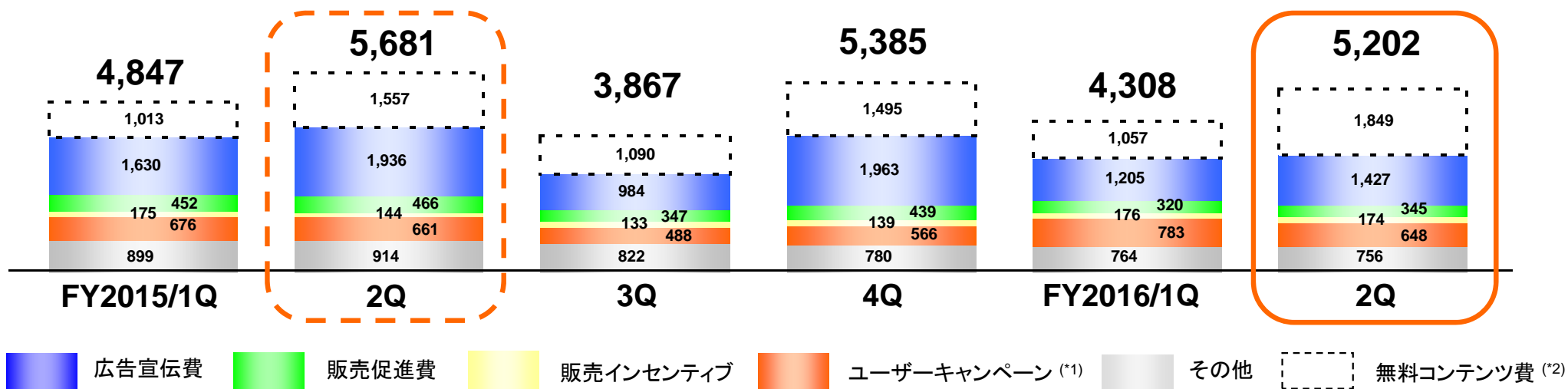
■ 基本料/件
 ■ レンタル会費/件
 ■ フラット視聴料/件
 ■ PPV視聴料/件
 ■ 自主コンテンツ収入/件

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

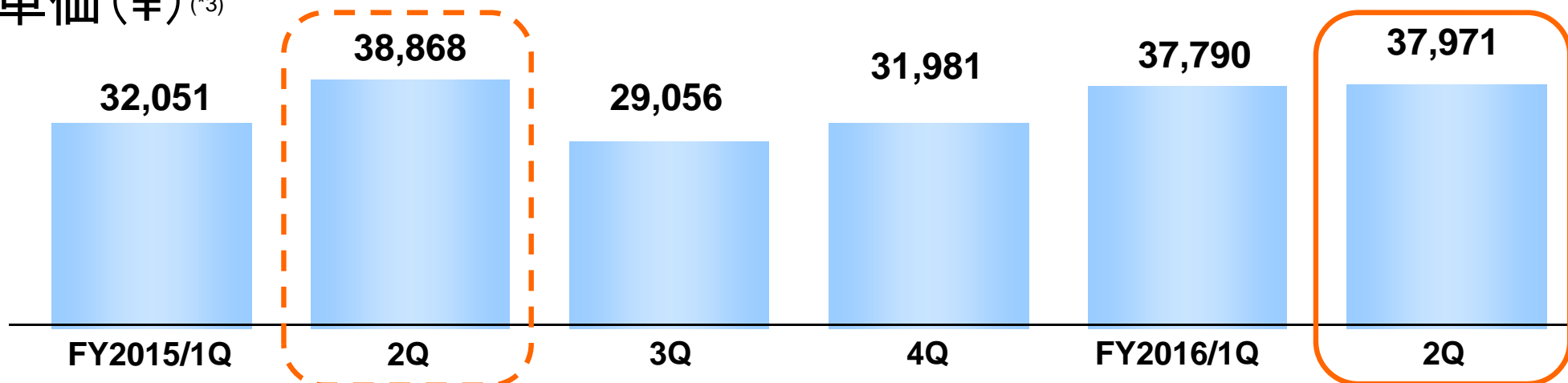
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用

*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。

*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

子会社業績

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPBC	SNET	JII	JMC	WWJ
事業内容		放送プラットフォーム、衛星通信	顧客管理	放送事業	衛星通信回線再販等	衛星通信回線販売	衛星移動通信サービス	海外向け日本コンテンツ配信
保有割合(%)		100	100	100	92	100	53.3	60
営業収益	FY2015/2Q	64,779	3,614	33,405	2,189	1,168	1,521	30
	FY2016/2Q	63,298	3,167	31,829	1,535	832	1,200	111
営業利益	FY2015/2Q	10,775	303	803	144	362	207	△587
	FY2016/2Q	11,746	208	767	9	104	152	△987
経常利益	FY2015/2Q	10,928	305	807	153	369	221	△563
	FY2016/2Q	11,999	208	771	3	132	108	△984

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

SNET:株式会社衛星ネットワーク

JII:JSAT International Inc.

JMC:JSAT MOBILE Communications株式会社

WWJ :WAKUWAKU JAPAN株式会社

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部